Sobal corporation

JPX STANDARD TOKYO

証券コード 2186

株主通信 2025

2024年3月1日 － 2025年2月28日（第43期）

Mission
社是

技術で社会に貢献する

ソーバルグループにとって、最大の資源は人材です。
常に新しい技術に挑戦し続け、豊かで夢のある社会づくりに貢献し、
技術者が輝く会社を目指します。

Vision
経営ビジョン

新しい技術や分野を積極的に取り入れ、
暮らしを豊かにするビジネスを実現する

お客様の「満足」から、
一歩先の「感動」を提供できる企業となる

エンジニアの挑戦を支援し、
「エンジニアがワクワクできる会社」日本一を目指す

Value
ソーバル人の行動規範

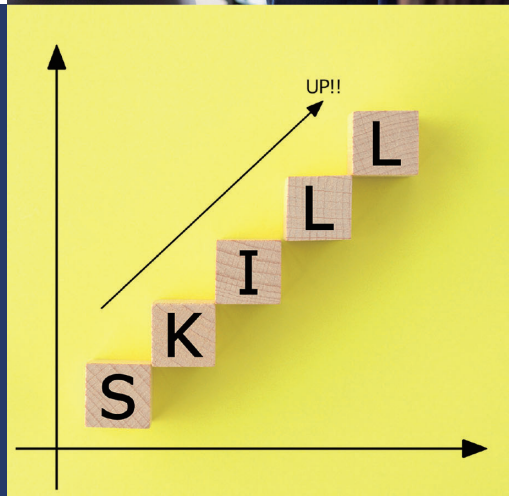
仕事の中に喜び、楽しみを。

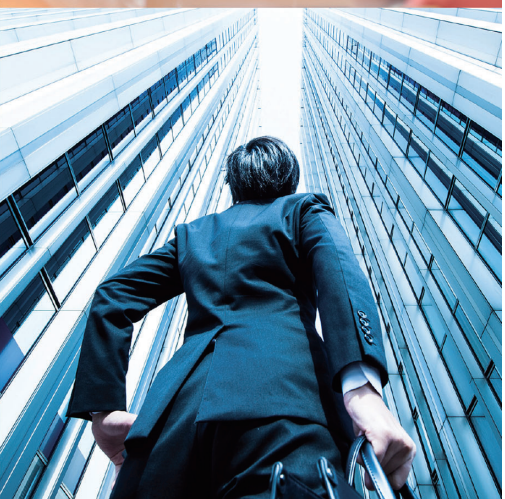
人にやさしく、仕事に厳しく

お客様の未来を考えます

新たな技術に挑戦し、日々前進

未来に誇れる自分であれ





目次

2. Mission・Vision・Value
3. 目次
4 - 5. 代表メッセージ
6 - 7. ソーバルグループ概要
8. ２０２５年２月期の概況
9. ２０２６年２月期の展望
10. 売上構成比／売上・利益推移
11. ２０２７年２月期に向けて／中期経営計画
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待／配当金
15. 株式基本情報／株主情報
16. 会社情報／株式手続き

代表メッセージ

企業にとって、最大の資源は人材です。

ソーバル株式会社
代表取締役社長
推津（しいづ）　敦（あつし）

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。

私どもは、高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが価値あるテクノロジーを生み出す近道だと考え、社員が技術力と人間力を高めることのできる環境を一貫して構築してまいりました。

ソーバルは、ソフトウエア開発を行うエンジニアリング企業として、「WEB・クラウド開発」「アプリケーション開発」「組込み開発」「マニュアル制作・WEB制作」など多岐にわたるソリューションを提供し、国内でも有数の独立系開発企業として評価をいただけるようになりました。さらに、「AIを成長の柱に」を主要施策とし、最先端技術への取り組みにも力を注いでおります。引き続き、システム開発をワンストップ受注できるこれまでの体制をより一層充実させるために、グループ各社との協業や人的・技術的交流を通してシナジー効果を日々追求してまいります。

デジタル変革によって、私たちは利便性や効率性をスピーディに追求できる時代に生きています。その結果、新しく生まれてくるモノやサービスもあれば、無くなったり、形を変えたりなど、あらゆる領域で大小様々な変化に直面しています。

弊社は、こうした新たな未来に向かって、「技術で社会に貢献する」という1983年創業以来の理念のもと、私たちの社会にとって真に豊かな時代の創造を目的として、さらなる高みを目指してまいります。

そして、お客様のご要望がますます多様化・高度化している時代にあっても、長年にわたって築き上げた信頼と実績をベースに、品質の高いサービスを提供してまいります。

これからもソーバルを取り巻くステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、どのような環境下であっても、お客様へ感動を提供できるよう常に新しい技術に目を向け、事業の継続に邁進してまいります。

今後とも引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ソーバルグループ概要

ソーバル株式会社

～組込みからAIまで、豊富な開発実績と最先端技術への取り組み～

Sobal corporation

社名	ソーバル株式会社
本社所在地	東京都品川区北品川5-9-11
設立	1983年1月
資本金	2億1,426万円

事業内容	エンジニアリング事業 ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・組込み開発 （ソフトウエア・ハードウエアの設計開発） ・マニュアル制作
主な開発実績	WEB・クラウドシステム ／ 企業向け業務系システム ／ スマホアプリ ／ デジタルカメラ・ビデオ ／ 自動運転 ／ 医療統計解析 ／ 各種マニュアル制作 ／ AI データ分析 など

ソーバルは、ソフトウエア開発を行うエンジニアリング企業として、「WEB・クラウド開発」「アプリケーション開発」「組込み開発」を主力とし、加えて「統計解析」「マニュアル制作・WEB制作」など多岐にわたる開発を支援するサービスを提供しております。さらに、「AIを成長の柱に」を主要施策とし、最先端技術への取り組みにも注力しております。社会環境の急速な変化に伴って、求められる技術も多様に進化を遂げています。社員一人ひとりがこれら新旧の技術を日々追求し糧とすることによって、お客様の様々な声に応える柔軟性と機動力を発揮しております。

株式会社コアード

～ 企業向け業務システム開発をワンストップで受注 ～

CORERD
株式会社コアード

社名	株式会社コアード
本社所在地	東京都港区芝浦4-16-23
設立	1987年2月
資本金	2,000万円
事業内容	コンピュータソフトウエアの開発 コンピュータシステムのコンサルティング

コアードは、企業が使用する「業務システム」の開発を得意とし、富士通グループの戦略パートナーとして、流通業を中心に出版・印刷業界から、住宅・不動産、金融、スポーツ分野など幅広い業界で必要とされるシステム開発を行っております。品質第一主義を掲げ、上流工程から下流工程まで一括で仕事を請負い、長年の開発業務で培った技術力と人間力でお客様のご要望に応えます。

アンドールシステムサポート株式会社

～ ニッチな強みを持つシステム開発の老舗企業 ～

ANDOR システムに挑戦する アンドールシステムサポート株式会社

社名	アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町66-2
設立	1969年11月
資本金	9,900万円
事業内容	ハードウエア設計･開発･製造 ソフトウエア等の受託開発

アンドールシステムサポートは、ユーザーのシステム開発を支援する「システムサポート」という業務を日本で初めて企業化した会社です。「設計・開発」のみの受託開発だけでなく、「企画～設計・開発～生産～品質管理」といった製品開発のすべての工程を担うODM事業を核に、物流システム開発事業、「JTAGテスト」「Pickeringテスト」「Arm純正開発ツール」等の各種ツール販売事業を展開しています。

2025年2月期の概況 （2024年3月1日～2025年2月28日）

2025年2月期・実績
（対前年期末比）

売上高	8,682百万円 (+6.3%)
営業利益	612百万円 (−8.8%)
経常利益	645百万円 (−6.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	432百万円 (−15.8%)

- 利益については前年同期比割れも、売上は大幅に増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益の未達要因は、出資先の株式取得価額に対する実質価額の著しい下落に伴う減損処理によるもの

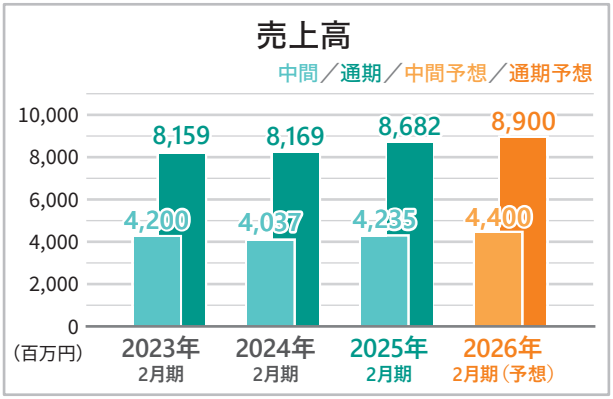
ソーバルグループは中長期的な成長を見据えた優秀な人材の確保・技術力の強化に取り組み、積極的な採用活動の継続とともにプロジェクトマネージャーとDXが推進できる技術者の育成に努めてまいりました。

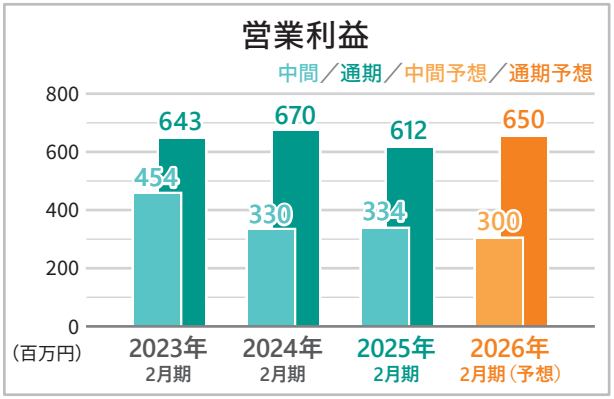
また、高水準の稼働率維持と一括受託案件獲得の強化ならびに契約単価の改定等の施策にも取り組んでまいりました。

今後も引き続き、営業力と利益体質の強化に努めてまいります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2024年9月11日に公表いたしました「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」の通り、連結子会社であるアンドールシステムサポートが保有する固定資産の譲渡が完了し、譲渡益225百万円を特別利益に計上しております。

一方、2025年4月11日に公表いたしました「特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」の通り、ソーバルが保有する投資有価証券の一部について、実質価額が取得価額と比較して著しく下落したため減損処理による投資有価証券評価損178百万円を特別損失に計上しております。





2026年2月期の展望 （2025年3月1日～2026年2月28日）

2026年2月期・予想（対前年期末比）	
売上高	8,900百万円（+2.5%）
営業利益	650百万円（+6.2%）
経常利益	660百万円（+2.3%）
親会社株主に帰属する当期純利益	440百万円（+1.8%）

テーマ：中期経営計画達成後を見据えた人材育成

- 契約単価の改定、ビジネスパートナーの活用、退職者の抑制により売上高は順調に増加
- 前年に引き続き積極的なベースアップ実施等で人件費が増加し、利益は微増

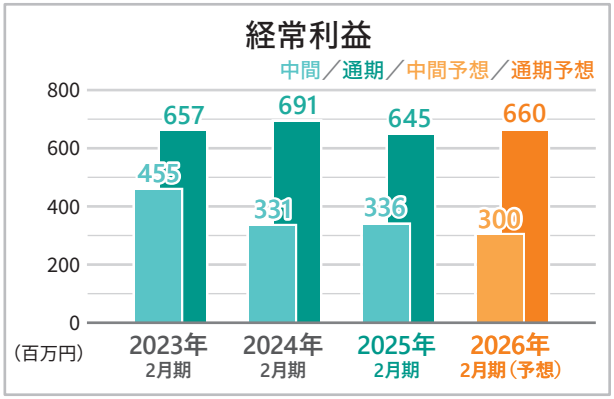
ソーバルグループは、2023年2月期から2027年2月期の5ヵ年を対象とした中期経営計画を推進しており、2026年2月期はその４年目に当たります。

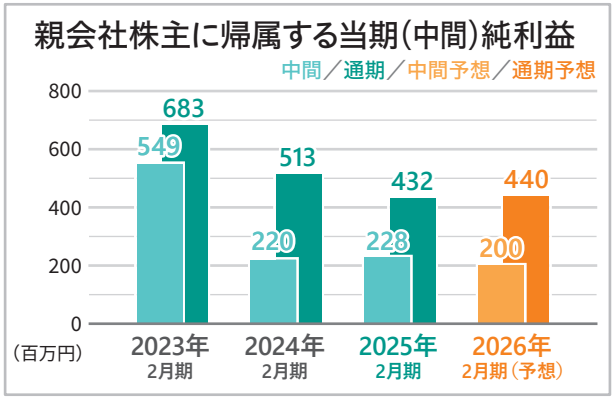
主力であるWEB／アプリケーション及び業務系システム開発分野における顧客ニーズは底堅く推移する見通しです。

組込み分野につきましては、強みである画像処理技術を活かした自動車関連の営業活動を重点的に推進してまいります。

一方で、AI分野を今後の成長の柱に据えており、新しい買物体験を実現する動画ソリューションの提供とともに、生成AIを活用したサービスやアプリケーションの開発に継続して取り組んでまいります。

また、従業員と事業の持続的な成長に向けた環境作りを強化し、優秀な技術者の確保と上流工程への参画や顧客への提案活動ができる技術者ならびにDXが推進できる技術者の育成強化に引き続き注力してまいります。



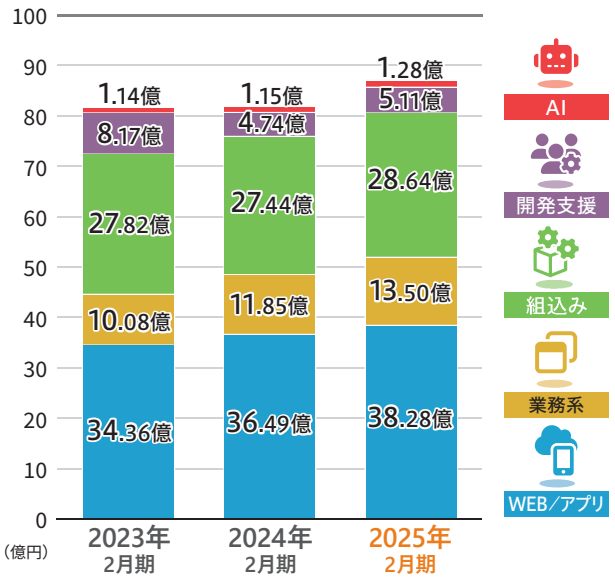


売上構成比／売上・利益推移

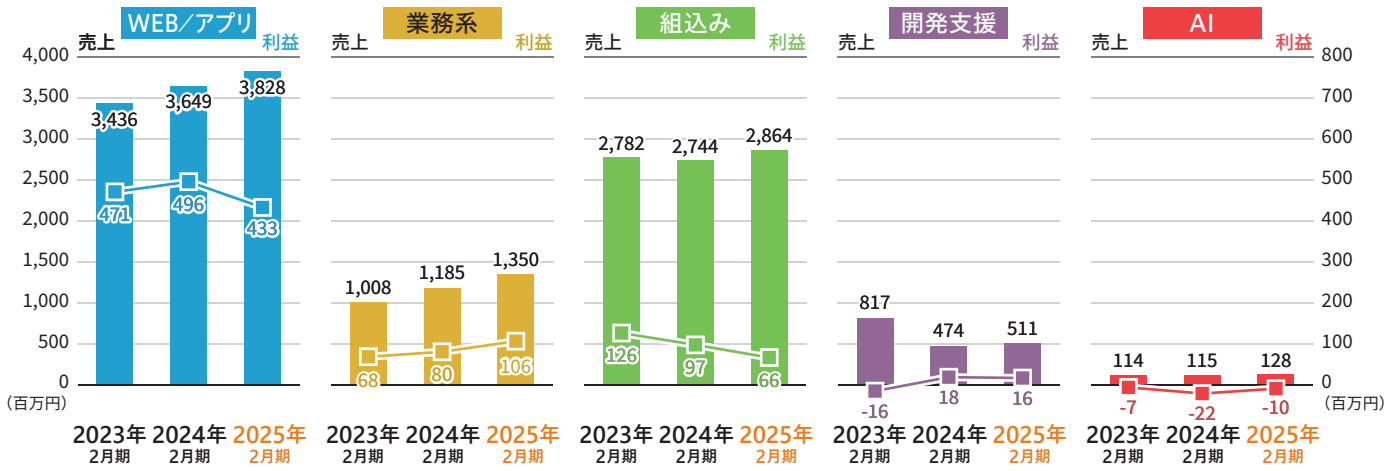
顧客別：売上構成比

順位		2023年 2月期	2024年 2月期	2025年 2月期
1	ソニーグループ	32.2%	31.4%	31.0%
2	富士通グループ	13.7%	13.6%	14.3%
3	キヤノングループ	9.2%	9.5%	9.4%
4	リクルートグループ	5.2%	6.1%	6.9%
5	日立グループ	3.5%	3.9%	4.4%
6	トヨタグループ	3.0%	3.2%	2.8%
7	首都高速道路技術センター	2.2%	2.1%	2.1%
8	三菱グループ	1.4%	2.1%	2.0%
	その他	29.6%	28.1%	27.1%

売上推移



事業内容別：売上・利益推移



2027年2月期に向けて／中期経営計画

2027年2月期に向けて

2027年2月期（来期）が中期経営計画の最終年度となるため、2026年2月期・売上予想89億円を必達するとともに、計画目標の100億円の実現へ向けた取り組みを行います。

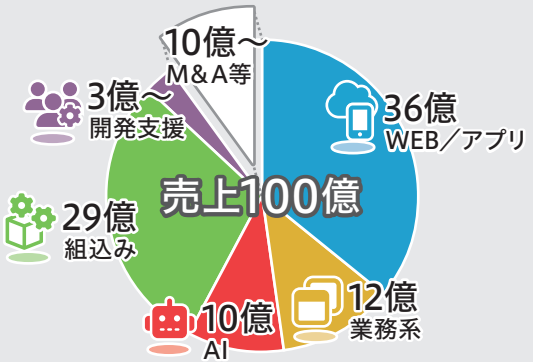
- 優れたエンジニアをより高難易度（高単価）の案件に活用
- 付加価値の高い案件の獲得強化により、さらなる収益増加を目指す
- 安定的かつ持続的な賃上げを実現するために、引き続き生産性の向上と、人材価値の向上に取り組む

増収要因
- 引き続き市況は堅調で人材の育成や業務のローテーションも順調
- 人件費見直し等の効果もあり、退職率は低い状態

増益要因
- 契約単価の見直し、稼働率の向上
- 社員のスキルアップによる生産性の向上

中期経営計画：経営目標

2027年2月期 売上目標



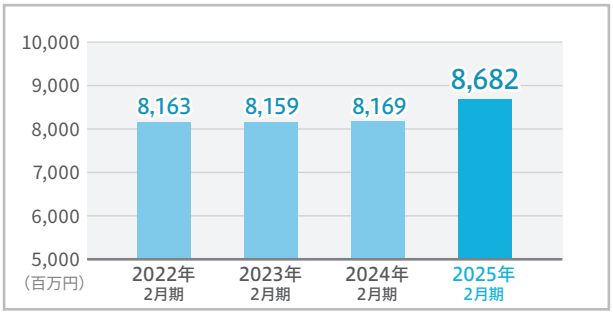
中期経営計画：主要施策

AIを成長の柱と位置付け、
人材の育成と販路の拡大に努めます。

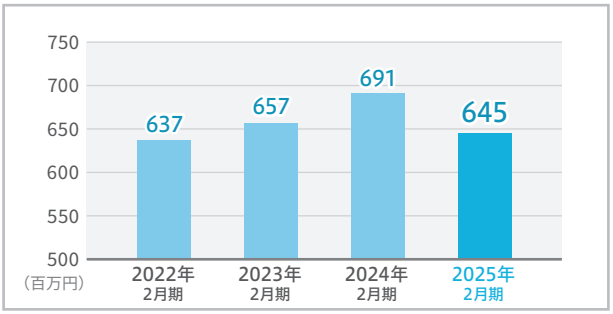
中期経営計画2年目で、売上規模10億円の品質評価事業を譲渡。
この時、100億円目標を下方修正せず、あえて挑戦し現在に至ります。

業績ハイライト（連結）

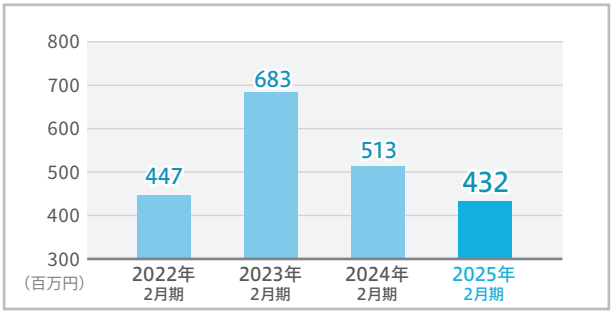
売上高



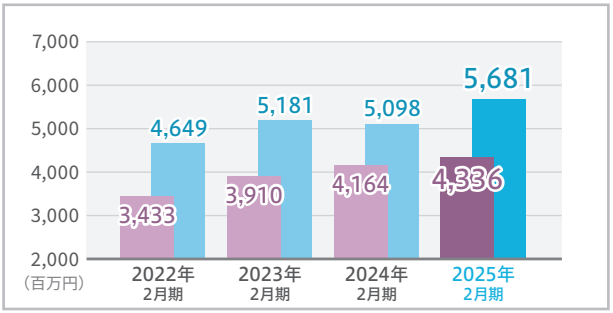
経常利益



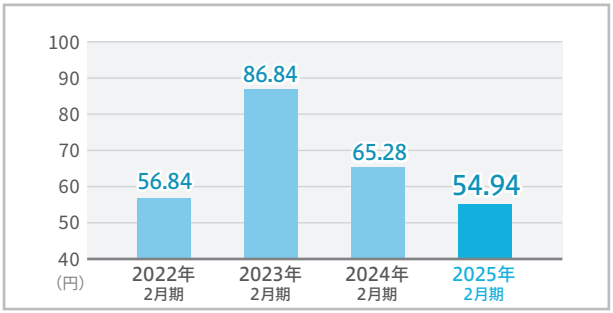
親会社株主に帰属する当期純利益



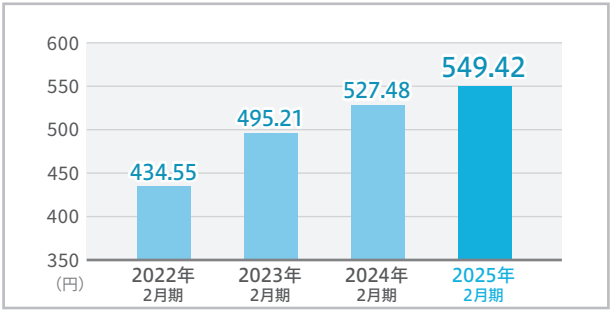
純資産／総資産



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を2023年2月期の期首から適用しており、2023年2月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

財務諸表（連結）

貸借対照表

（単位：千円）

科目	2024年 2月期	2025年 2月期	科目	2024年 2月期	2025年 2月期
（資産の部）			（負債の部）		
流動資産	4,357,594	5,151,616	流動負債	796,522	1,225,851
固定資産	740,844	529,656	固定負債	137,257	118,534
			負債合計	933,780	1,344,385
			（純資産の部）		
			株主資本	4,149,851	4,322,400
			新株予約権	14,807	14,486
			純資産合計	4,164,658	4,336,886
資産合計	5,098,438	5,681,272	負債純資産合計	5,098,438	5,681,272

損益計算書

（単位：千円）

科目	2024年 2月期	2025年 2月期
売上高	8,169,683	8,682,548
売上原価	6,555,923	7,029,370
売上総利益	1,613,760	1,653,177
販売費及び一般管理費	942,793	1,040,935
営業利益	670,966	612,241
営業外収益	20,395	37,248
営業外費用	127	4,040
経常利益	691,235	645,449
特別利益	128	225,360
特別損失	–	178,397
税金等調整前当期純利益	691,363	692,412
法人税等合計	177,806	260,224
当期純利益	513,556	432,188
親会社株主に帰属する当期純利益	513,556	432,188

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	2024年 2月期	2025年 2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,987	844,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,268	270,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,633	△259,136
現金及び現金同等物の増減額	△179,914	855,641
現金及び現金同等物の期首残高	3,125,306	2,945,391
現金及び現金同等物の期末残高	2,945,391	3,801,033

株主優待／配当金

株主優待について

毎年8月31日時点で1単元（100株）以上の株式を保有する株主様に対し
QUOカードを贈呈いたします

QUOカード

対　　象	8月31日（基準日）に 1単元（100株）以上ご所有の株主様	
実施回数	年1回	
優待内容	1単元（100株）以上、 10単元（1,000株）未満	500円相当の QUOカード
	10単元（1,000株）以上	2,000円相当の QUOカード

配当について

期末配当金領収証（振込ご指定の方には期末配当金計算書等）は
本書とともに同封されております

（単位：円）	1株当たり配当金			配当性向（連結）
	中間配当	期末配当	年間	
2025年2月期	16.5円	16.5円	33.0円	60.1％
2026年2月期予想	16.5円	16.5円	33.0円	59.0％

2025年2月期 期末配当

期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2025年2月28日
支払開始日	2025年5月28日

2026年2月期 中間配当予想

中間配当金	16.5円
中間配当 株主確定日	2025年8月31日

2026年2月期 期末配当予想

期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2026年2月28日

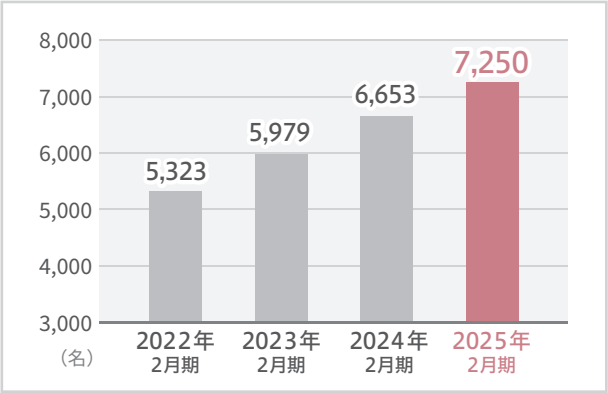
株式基本情報／株主情報

株式基本情報

証券コード	2186
上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場
事業年度	毎年3月1日から 翌年2月末日まで
配当支払株主確定日	中間：8月31日 期末：2月末日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
単元株式数	100株
発行可能株式総数	29,600,000株
発行済株式総数	8,167,498株　（2025年2月28日現在）
株主数	7,250名　（2025年2月28日現在）
公告方法	電子公告 （事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します）

株主数推移

（2025年2月28日現在）



株式分布状況

（2025年2月28日現在）

所有者別株式数情報

金融商品取引業者	1.12%
その他の法人	43.23%
外国法人等	0.28%
個人・その他	55.37%

（注）自己株式数（300,263株）は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有株数別株主数情報

1単元未満	9.78%
1単元～5単元未満	77.90%
5単元～10単元未満	3.31%
10単元～50単元未満	7.49%
50単元～100単元未満	1.08%
100単元～	0.44%

大株主

（2025年2月28日現在）

株主名	持株数	持株比率
エバーコア株式会社	3,480,000株	44.2 %
ソーバル従業員持株会	710,700株	9.0 %
川下 奈々	397,480株	5.1 %
推津 敦	397,480株	5.1 %
町田 泰則	43,000株	0.5 %
推津 幸子	40,040株	0.5 %
和田 位	34,000株	0.4 %
新海 秀治	31,900株	0.4 %
マネックス証券株式会社	23,839株	0.3 %
稲葉 勝巳	21,500株	0.3 %

（注）持株比率は、自己株式数（300,263株）を控除して計算しております。

会社情報／株式手続き

会社概要

（2025年2月28日現在）

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川5－9－11大崎MTビル
資本金	214百万円
事業内容	エンジニアリング事業 ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・組込み開発（ソフトウエア・ハードウエアの設計開発） ・マニュアル制作
従業員数	連結：916名　単体：765名
公式サイト	https://www.sobal.co.jp/

株式手続き

住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増請求等

口座を開設されている証券会社 へお問合せください

未払配当金の支払請求、郵送物の発送・返戻について特別口座に記録された株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社（証券代行部）へお問合せください

テレホンセンター：0120-232-711

受付時間：9:00～17:00（土日祝休み）

https://www.tr.mufg.jp/daikou/

【郵送物送付先】

〒137-8081　新東京郵便局私書箱29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

役員紹介

（2025年5月27日現在）

取締役	
代表取締役社長	推津　敦
取締役	東谷　正雄
取締役	山林　敬
取締役	島谷　裕一
取締役（社外取締役）	髙木　友博

監査役	
常勤監査役	両瀬　賢一
監査役（社外監査役）	鴛海　量明
監査役（社外監査役）	河﨑　健一郎

執行役員	
執行役員	稲葉　勝巳
執行役員	河原　浩一
執行役員	大久保　仁美
執行役員	西岡　建太
執行役員	杉山　義雄
執行役員	井上　一幸
執行役員	濱田　修
執行役員	齋藤　健太郎

IR情報

Sobal corporation

ソーバル株式会社

IRお問合せ

この冊子の文章、写真等の著作物の全部または一部を弊社の許可なく複製、使用することを一切禁じます。 冊子の内容は2025年5月現在のものです。

280525PR295-IRJ17